

第2回永平寺町学校のあり方検討委員会 要点録

1	会議の名称	第2回永平寺町学校のあり方検討委員会		
2	会議の開催日時	2020年9月25日(金) 午後7時～9時		
3	会議の開催場所	上志比文化会館サンサンホール	公開の可否	○可・一部不可・不可
4	事務局(担当課)	学校教育課	傍聴者数	4名
5	非公開の理由 (非公開(会議の一部非公開を含む。)の場合)	/		
6	協議事項	<p>議題1 第1回委員会グループワークでのご意見について</p> <p>議題2 永平寺町内の学校教育の現状について (全国学力・学習状況調査および福井県学力調査の結果)</p> <p>議題3 児童生徒数の変遷および推計について</p> <p>議題4 アンケート(案)について</p>		
7	配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ● 次第 ● 資料1 第1回委員会 グループワーク意見 ● 資料2 永平寺町内の学校教育の現状について ● 資料3 児童生徒数の変遷(平成元年～) ● 資料4 人口推計の方法 ● 資料5 児童数(推計) ● 資料6 調査票サンプル ● 資料7 設問意図【保護者小中学校】 ● 資料8 設問意図【保護者幼稚園】 ● 資料9 設問意図【小4まで】 ● 資料10 設問意図【小中学生】 ● 資料11 設問意図【高校生】 ● 資料12 設問意図【地域住民】 		
8	審議等の内容	別紙のとおり		

第2回永平寺町学校のあり方検討委員会 要点録

(2020年9月25日(金)開催)

開会

事務局

定刻になりましたので、第2回永平寺町学校のあり方検討委員会を開催します。

この委員会は、本来は、3月に開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、このような時期の開催となっしまい、委員の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。誠に申し訳ございません。

会議に先立ちまして、町民指標のご唱和をお願いいたします。

(町民指標唱和)

事務局

それでは、委員長よりお願いいたします。

委員長

(あいさつ)

事務局

それでは協議事項に移ります。

本日の委員会につきましては、24名の委員のうち19名の委員が出席しており、本委員会が成立していることを報告します。

では、この後の議事進行は、委員長よりお願いいたします。

委員長

それでは議題に入らせていただきます。

協議事項1 第1回委員会グループワークでのご意見について

委員長・副委員長

(資料1に基づき、説明)

副委員長

コロナにより、インターネットによる授業等、地域によって教育の提供体制に格差があるということが明らかになりました。

今後は学校間の協力が必要です。

委員長

これからの教育は変化があると思います。今後の教育のあり方を見据え、答申に反映していくことが重要です。

協議事項2 永平寺町内の学校教育の現状について (全国学力・学習状況調査および福井県学力調査の結果)

事務局

(資料2に基づき、説明)

協議事項3 児童生徒数の変遷および推計について

事務局

(資料3～5に基づき、説明)

委員長

今確認したいということがなければ、調査票について事務局から説明をお願いしたいと思います。

協議事項4 アンケート(案)について

事務局

(資料6～12に基づき、説明)

委員長

それでは、他にご質問がなければ、グループワークに入ります。

このアンケート案は、あくまで事務局が示した「たたき台」とご理解いただきたいと思います。この調査票について、「こういった設問も必要ではないか？」あるいは「この設問は要らないんじゃないか？」といったご意見をいただきながら皆さんで議論し、最終的にこの検討委員会の総意としてアンケートの内容を決定していきたいと思います。

まず、お座りのグループごとに、ご意見をおまとめいただき、後ほど、グループごとに発表していただきたいと思います。

よろしく申し上げます。

(グループワーク)

委員長

時間がまいりましたので、ここからは、グループごとにとりまとめられたご意見の発表をお願いいたします。

第1グループ

私たちのグループでは、調査の方向性や目的、調査結果の活用方法等をはっきりしてほしいという意見がありました。学校、教育委員会の目指す方向性を示すことで、共通認識を持ちたいと思います。

そして、調査結果をどのような形でフィードバックするのかということも示す必要があります。また、保護者に対して同じような設問項目が多く、わかりにくいものとなっています。

資料7について、教育で重要だと思う項目に学力に関する選択肢がないため追加してほしいです。

また、学校と地域の連携について、PTA 活動の項目がありません。子どもが減ると、保護者の人数も減り、活動がしんどくなります。今後はPTAと地域が連携できるような支援が重要であり、地域の理解をいただけないと持続可能な活動ができないと思います。

また、保護者に対し他のアンケート調査でも同じような項目を尋ねており、どこが違うのか、何を聞きたいのかということがわかりにくいという意見もありました。

答申では、はっきりとした方針を示し、町民の思いを組んでほしいと思います。

副委員長

調査の趣旨については、アンケート調査票の表紙に記載し、調査の目的、フィードバックのあり方について示されると思います。

PTA との連携という選択肢を追加することに賛成です。教師と保護者のアソシエーションは不安定になってきており、PTA と地域の連携について調査票に盛り込みたいと思います。

他のアンケートとの重複とはどういうことでしょうか。

第1グループ

PTA の会議でも永平寺町の学校の統廃合の議論をしています。また、他の委員会等でも似たようなアンケート調査が実施されています。そこでの議論と重複している部分については省略したり、逆にそこで聞いていない項目の内容を充実するといった精査が必要だと思います。

副委員長

近い種類の調査であっても、回答する人が異なるため、調査対象者がどれほど重複するのかということが問われると思います。

また、今回の調査は5,000人に聞くので、異なる回答が出てくると思います。

調査の重複については、色々なところで色々聞きすぎているという縦割の弊害でもあります。事務局の方で、調査の重複等を改めて確認させていただければと思います。

第2グループ

保護者に対する調査で、SNS の使い方の取り決めやいじめの経験に関する項目を追加してほしいという意見がありました。

今後の教育のあり方について、他行との交流を積極的にしていくとありましたが、具体的な内容を打ち出してみてもという意見もありました。

また、現場の声として教職員の意見を知りたいという意見もありました。1クラス何人くらいが適当だと思うかについて、保護者や児童だけでなく、先生の話聞くことも重要だと思います。

副委員長

先生に対するアンケート調査は今回の調査に含まれていませんが、校長会を通じた調査など、やり方を検討して行えればと思います。

委員長

SNS に関する項目を追加したいと思います。個々のいじめについては趣旨が異なりますので、今

回の調査ではそこまで広げない予定です。

先生の声については、現在の調査票を取捨選択して、先生を対象とした調査の実施を検討させていただきます。

第3グループ

1学年の児童数について、学習するときの適正な規模、スポーツをするときの適正な規模、友達としての人数など、条件によって変化するため答えづらいと思います。

保護者に対し、子どもが通っている、もしくは通う予定の小学校が廃校になったらどうするかということを直接聞いても良いかと思います。あわせて、地域住民に対し、地域から学校がなくなることについてどう思うかという設問を追加してほしいです。学校がなくなったら、学校がある地区に引っ越すのか、それとも住み続けるのかということ把握することが重要です。

また、子ども達に対する調査票では、学校や学級の良いところだけではなく、もっと良くしたいところ等の課題を書いてもらってはどうかという意見もありました。

調査票全般について、性別のクロスをする予定がないなら削除しても良いのではないのでしょうか。

委員長

学生の人数は状況に応じて変わるというのは、まさにその通りだと思います。調査票に反省します。

地域から学校がなくなったらどうするのかということを書いてももらうということですが、学校の統廃合に関する生々しい話は記載しにくいという課題があります。答申では、子ども達の未来としてしっかりと描きたいと思います。

学校に関するマイナス面のことを聞いてほしいということももっともだと思います。

副委員長

マイナスやネガティブなことを文字にすると記憶に結び付くという課題があります。特に小学2年生と4年生については、発達の関係から学校に対するネガティブなイメージが固定されかねない恐れがあるため、記載を控えさせていただければと思います。小学5年生以上については、学校や学級の良くしたいところを書いてもらって、健やかな成長につながるよう結果の把握に努めます。

事務局に確認したいのですが、性別のクロスについては実施予定がありますか。

事務局

性別のクロスは実施する予定です。男女別の傾向が把握できれば、地区ごとの推計と照らし合わせて、男性が多い地区で今後どのようなニーズがあるかということ进行分析できるかと思います。

なお、性別をお聞きする際には、男女の二択ではなく、記述していただくか、回答したくないという選択肢を追加するなど、回答される方が苦痛を受けないような方法で実施したいと思います。

第4グループ

アンケート調査を実施する前に、学校と地域の連携をしっかりとし、そのうえでアンケート調査を実施してはどうかという意見が出ました。

子どもが減ってくると地域が不安定になります。地域間連携について話し合ったうえで再度アン

ケート調査を実施してはいかがでしょうか。

委員長

地域と学校の関係が大事というのは、まさにその通りで、これからの学校運営は、教員だけでなく地域を巻き込んで進めていくことが必要だと思います。

一方で、答申をつくる材料としてアンケート調査を実施したいと考えています。ご指摘いただいている地域間連携は、まさに答申の根底となる部分だと思います。ですが、地域間連携を充実してからとなると、膨大な時間がかかってしまいます。

ですので、アンケート調査を実施し、民意をひろって今後の学校と地域のあり方を考えていきたいと思っています。

委員長

各グループのご意見をお聞きして、アンケートの良し悪しだけでなく、地域のあり方を大事にしていきたいと思いました。

ご意見を受け、調査票のサンプルを早急に作成し、事前に送って確認することが必要だと思います。調査を実施するまでもう一度検討委員会を開催したいのですが、スケジュールとしてはいかがでしょうか。

事務局

状況に応じて委員会の回数を増やすことは可能です。

委員長

本日頂いたご意見を踏まえ、事務局と委員長、副委員長で再度検討させていただければと思います。

他の意見がなければ、事務局にその他についてお願いしたいのですが、いかがでしょうか。

委員

保護者に対する調査で、学校に望むこととして、確かな学力が欠かせないと思いますので、重視することに確かな学力を追加してほしいです。

会長

確かな学力の追加を検討させていただきます。

その他

会長

最後に、その他として事務局からお願いします。

(事務局から委員会のスケジュールについて、再度調整する旨を説明)

委員長

本日は貴重な意見をいただき、ありがとうございました。これにて、本日の委員会を終了します。

<閉会>